

令和2年7月豪雨により砂防堰堤に堆積した土砂の撤去を進めています

砂防堰堤に堆積した土砂の撤去を行っています

令和2年7月豪雨では、県内で多くの土砂災害が発生し、11名の尊い命が奪われました。一方で、県内各所で、これまでに整備した砂防堰堤が土砂や流木を捕捉し、下流域への土砂等の流出を食い止めました。

県では、次期出水に備えて、管理型砂防堰堤の土砂捕捉機能を確保するため、8月下旬から堆積土砂の撤去に着手しています。これまでに、異常堆砂が確認された管理型砂防堰堤16基（約11万 m^3 ）のうち、3基（約7万 m^3 ）の土砂撤去が完了しています。

1 県内の砂防堰堤について

- ・ 県内の砂防堰堤は約1,700基（管理型¹194基、非管理型²1,506基）

- 1 管理型：堰堤に堆積した土砂等を撤去する必要がある堰堤
- 2 非管理型：満砂状態で機能を発揮する堰堤

2 管理型堰堤の点検について

- ・ 熊本県砂防関係施設長寿命化計画に基づき、今回の豪雨で土砂災害警戒情報が「危険度3」³と判定された地点に設置された管理型砂防堰堤の臨時点検を実施
- ・ 臨時点検の対象は122基、そのうち16基（約11万 m^3 ）で異常堆砂を確認

3 雨量データ等の数値が、基準値以上になった状態

3 堆積土砂撤去の状況

- ・ 8月下旬から撤去を開始し、10月末時点で3基（約7万 m^3 ）が撤去完了
- ・ 12基（約4万 m^3 ）については、来年梅雨前までに撤去を完了する予定
- ・ 1基（約1千 m^3 ）については、アクセス道路が被災し現地に入れなかったため、着手の時期は未定（アクセス道路復旧後の予定）

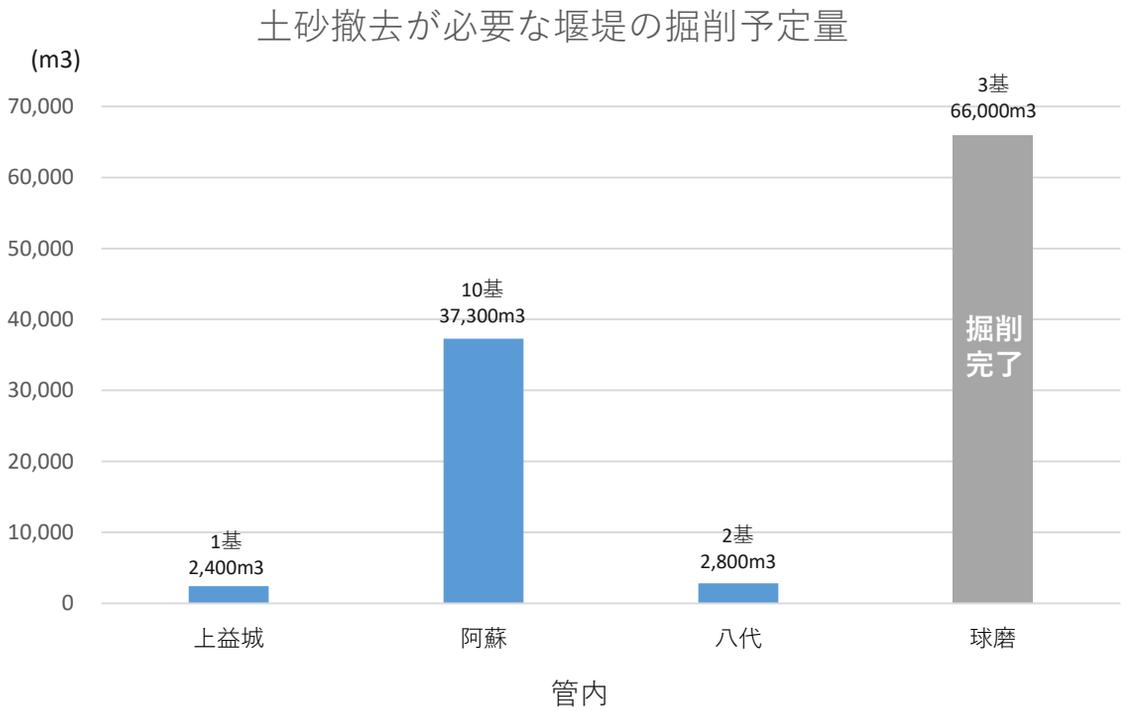
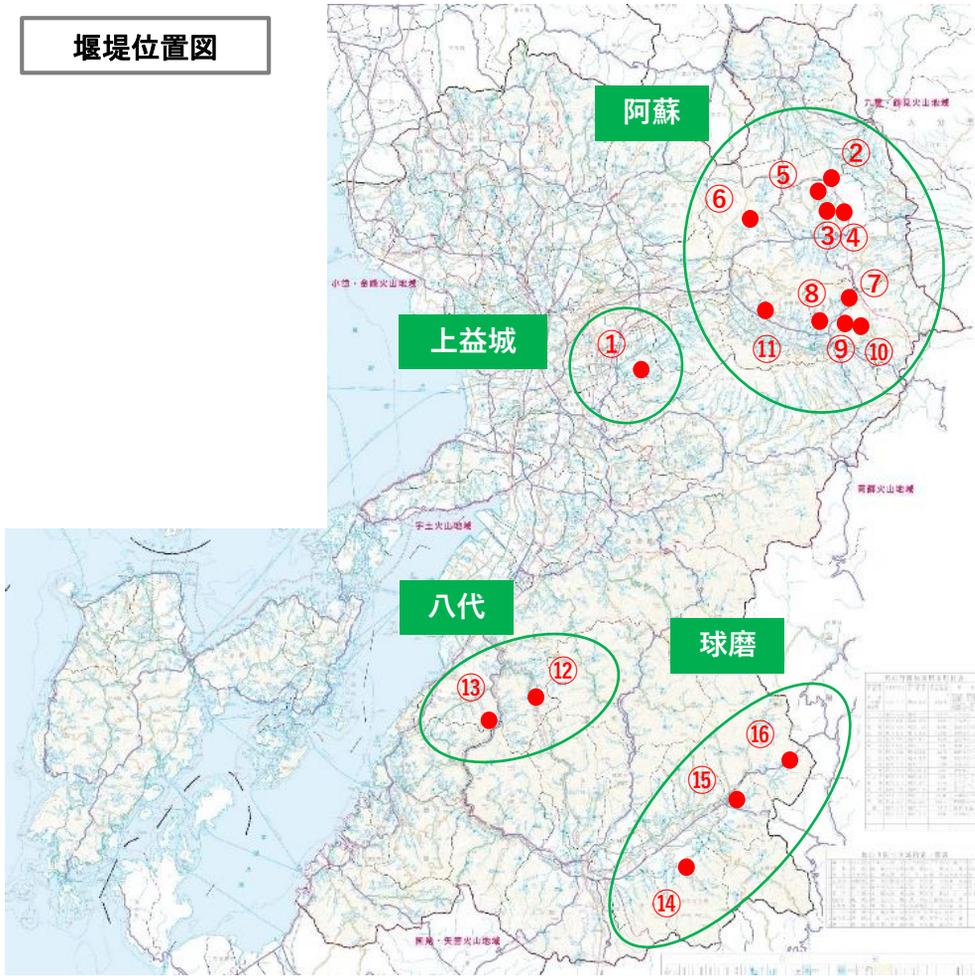
【お問い合わせ先】

土木部河川港湾局砂防課

伊藤、松川（内線番号：6261、6262）

（直通：096-333-2552）

【異常堆砂が確認された管理型砂防堰堤】



【管理型砂防堰堤の掘削状況】



②牧良川砂防堰堤
(球磨郡湯前町)



③湯山川砂防堰堤
(球磨郡水上村)



①西平川砂防堰堤
(球磨郡あさぎり町)



【R2年7月豪雨における砂防堰堤の効果事例】 みょうじん かわ 明神川砂防堰堤2（八代市坂本町）

○令和2年7月4日の降雨により土石流が発生したものの、砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、**下流地域への被害を防止**



【R2年7月豪雨における砂防堰堤の効果事例】

にし ひら がわ 西平川砂防堰堤 1 (球磨郡あさぎり町)

○令和2年7月4日の降雨により土石流が発生したものの、
砂防堰堤が土砂・流木を捕捉し、**下流地域への被害を防止**

